

【事例73】「加熱式タバコで乳幼児が中毒！」

【事例】 1：加熱式タバコの吸い殻を割って口に入れていたところを父親が発見した。すぐに口からかきだした。（9か月・男児）

2： 母親が家事をしていたスキに、父親の部屋のゴミ箱にあった加熱式タバコをなめていた。すぐ救急車を呼んだ。（1歳・男児）

【対処法】 ① 「加熱式タバコ」は、タバコの葉の入ったスティックやカプセルを専用の加熱装置にセットして使用するものです。タバコ葉が入った部分を子供が食べた、という事故報告があり、多くは1歳5か月以下の乳幼児です。② これまでの煙草と違い、火の始末が必要ないため、使用後はゴミ箱に捨ててしまいがちですが、小さい子供はよく見えています。絶対に子供の手の届くところには置かないよう大人が注意してください。③ 万が一飲み込んだ場合、ニコチンにより小さい子供には中毒症状が現れる恐れがあります。水や牛乳を飲ませたりしないでください。水分によりニコチンの成分が吸収されやすくなる危険があるそうです。直ちに医療機関を受診しましょう。

※何か問題が起こったら企画課の消費相談窓口で相談しましょう。